

2 . 全体評価

(1) 全体指標の達成状況

目標	メニュー	全体指標	現状値			目標値			目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度	数値	単位	年度	実績	達成率 (%)	年度	
森林資源の保護	森林資源保護の推進(松林健全化保全)	計画量に対する枯損木の除去実施率	100	%	R5	100	%	R6	100	100%	R6	
	森林資源保護の推進(松林病害虫等防除活動支援体制整備促進)	情報誌の発行	1,000	部	R5	1,000	部	R6	1,000	100%	R6	
		研修会の開催	1	回	R5	1	回	R6	1	100%	R6	
	森林資源保護の推進(松林保全体制整備強化)	分布調査箇所	18	箇所	R5	18	箇所	R6	18	100%	R6	
	森林環境保全の推進	延べ巡視日数	239	日	R5	239	日	R6	139	58%	R6	
林業の多様な担い手の育成	労働安全の確保	災害発生件数(減少率)	23	件	R5	20 (-13.0%)	件	R6	12 (-40.0%)	167% (308%)	R6	
		素材生産量(増加量)	1,091,000	m ³	R5	1,221,920	m ³	R6	908,000	74%	R6	

(注)

- 1 全体指標、現状値、目標値、単位については、事業計画の内容とすること。
- 2 達成率は、目標年度の実績／目標値とすること。ただし、現状値より数値を縮減する(減少させる)ことを目標とする指標については、目標値／目標年度の実績とすること。
- 3 実績については、その調査方法と調査年月日を備考欄に記載すること。(別様可)
- 4 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 5 行については、適宜加除すること。

(2) 総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
森林資源の保護	松くい虫被害防止対策として、枯損木の除去や森林病虫害等防除に係る情報誌の発行、研修会の開催など事業計画時の目標を達成することができ、被害の拡大に対する一定の抑止が図られている。 なお、森林保全巡視指導員による巡視回数については、賃金の上昇等により報酬単価を見直したことにより、計画時の目標を下回っている。	対策の実施により、被害拡大に対する一定の抑止は図られているものの、被害量は増加傾向で推移しているため、被害の拡大防止に向けて、早期発見と徹底駆除を基本として引き続き対策を行う必要がある。
林業の多様な担い手の育成	林業労働災害の防止対策として、素材生産現場等を対象とした巡回指導や事業主等を対象とした安全管理セミナーを開催したことにより労働災害の発生件数が減少した。一方で、雇用環境の改善などによる担い手の確保・育成対策を通じて、安定した素材生産活動の実現を目指してきたものの、住宅着工戸数の低迷等により、木材需用が低迷したことにより、素材生産量については事業計画時の目標を下回った。	林業就業者の高齢化や素材生産事業へのシフトによる労働災害の増加、労働災害の増加によりイメージが低下することによる就業者の減少等が懸念されるため、近年の労働災害の動向等について調査分析の上、引き続き巡回指導等を行い事業主のほか、現場の作業員一人一人の意識の高揚を図るなど、対策を強化する必要がある。

(注)

- 1 目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記載するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記載すること。
- 2 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 3 本表には、目標ごとに評価等を記載すること。
- 4 行については、適宜加除すること。